

バリ島に魅せられて

私は、バリ島の魅力に取りつかれ10年間、バリ島shop「Kupu Kupu」を経営し、バリ島の資材を使用したガーデンのデザイン、施工、インテリアの提案を行ってきた。やはり最終的なコンセプトは、バリ島であり本作品は、バリ島に関連した「Kupu Kupu」イベント施設をデザインし、施工する。

バリ島の魅力

バリ島の魅力は自然の形を最大限に生かした素朴さの中の温もりである。バリ島の人々の笑顔、素直さは、いつも驚かされる。神々の島とも形容されるバリ島では、人々のおおよそ90%が、バリヒンドゥー教である。古くからの習慣もかなり色濃く残されており店や家の前には毎朝チャナンと呼ばれる色とりどりのお供え物を宗教的な活動に多くの時間が使われる。



バリ島の地形

バリ島の面積は5633km²。島の北部を東西に火山脈が走り、バリヒンドゥーにおいて信仰の山アグン山(3142m)やバトゥール山(1717m)などの多くの火山を有している。

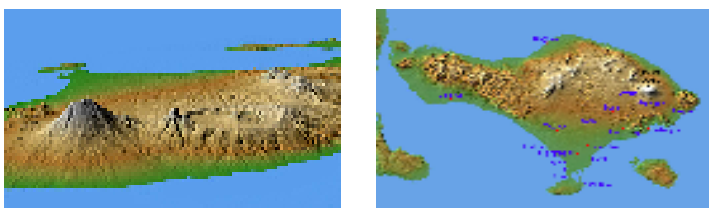


図: ウィキメディアコモンズより引用

バリ島の舞踊・音楽

バリ島の祭礼や儀礼には、必ず舞踊が伴う。舞踊芸術のケチャやレゴン、パロン・ダンス、憑依舞踊のサンヒャン・ドゥダリ、そしてこれらの伴奏に使われるガムランやジュゴグがよく知られている。最近では観光用に仕組まれたレパートリーが多い。



バリ・ヒンドゥー教

バリ・ヒンドゥー教の世界観は、方角によっても支えられている。とりわけ重要なのが「カジャ」(山側)と「クロッド」(海側)の組み合わせである。カジャとクロッドの対比は、上と下、優と劣、清浄と不浄といった象徴的価値観と密接につながっている。寺院の位置や葬儀の場所、屋敷の構造などがこの対比に従って決められている。家の入口などにお供え物を置く石像も意味があり景観の一部になっている。



バリ島の位置

バリ島はアルプスヒマラヤ造山帯に属する小スンダ列島の西端時に位置する。島の西は、バリ海峡を挟んでジャワ島があり、東にはロンボク海峡を挟んでロンボク島がある。

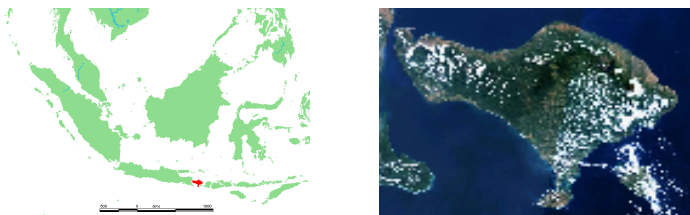


図: ウィキメディアコモンズより引用

気候

バリ島周辺はサバナ気候に属し、北西季節風の吹く雨期(10月-3月)と、南東季節風の吹く乾季(4月-9月)とに明確に分かれる。乾季の期間は、北部、東部、を中心に度々水不足に陥る。また雨期といっても一日中雨が降るわけではなく実際には多くても1日に2-3時間のスコールである。

バリ島には有名なリゾートホテルも沢山あり庭の勉強になる。

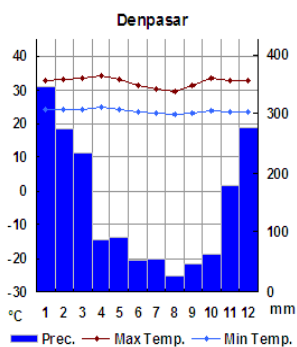


図: ウィキメディアコモンズより引用

店舗アジアンガーデン「Kupu Kupu」風景

バリ島から資材をすべて直輸入し店の庭をアジアンリゾートにデザインした。店舗の名称「Kupu Kupu」の意味は、インドネシア語で蝶。わらぶき屋根のガゼボもオリジナル設計しバリ島で製作した。水鉢等も、デザインしバリ島でオーダーした。バリ島の独特の温かみを表現したかった。



本店風景

バリ島から直輸入

バリ島からのすべての商品を直輸入。コンテナから商品を運搬開封する。新商品を開けるのはいつも楽しい。オーダー家具から雑貨まで120品以上は大体積んでくる。石材も石材便で、バリ島からオリジナル石材を積んでくる。そして弊店が設計、施工するガーデンに使用される。オーダー家具が、図面から商品化され運ばれる。開封し確認する時の満足感はたまらない。そしてメンテナンスしお客様に納品する。

過去の施工事例 1 店舗インナーガーデン

すべてバリ島から資材を取り寄せデザインした。バリ島の庭を部屋の中に作り、解放的な雰囲気が出ればと思った。バリ島のわらぶき屋根のガゼボを部屋として使用。アプローチは、白い自然石を300mm角で作し周囲は黒い砂利を敷いた。壁から天井まですべて塗り壁とし、照明もこだわった。



過去の施工事例 2 個人邸の前庭

波音が聞こえる場所の個人邸。ポイントでバリ島の資材を使用。オリジナル表札、壁掛けレリーフ。門柱前のストーンレリーフもオリジナル。ネームプレートも自然石を彫ってデザインした。



オリジナル レリーフ

バリ島の自然石を彫りオリジナルレリーフ温かみがある仕上げが魅力的。すべて手作業で作る。レリーフの柄の特徴は、彫るひとによって微妙に雰囲気が変わってくる。大きく均一に切り出した原石に絵柄を描き、彫りだしていく。



過去の施工事例 3 個人邸の庭

樹木にドラセナとシマトネリコを植えた。壁にはバリ島のオリジナルレリーフタイルをポイントに入れた。カーテン付テラスも日除けに取り付けた。立ち上がってる壁は、白色の珪藻土。

